

白石地区 地域づくり 協議会だより

2014年9月1日号 Vol. 15



祝・山口線全線運転再開

白石地区地域づくり協議会 TEL 083-941-5959
〒753-0046 山口市本町1-1-25 FAX 083-941-5966
白石地域交流センター内 <http://www.y-shiraishi.net/>

明治維新150年記念事業「維新の策源地、山口」を歩いてみよういね! —— 松前 了嗣

第4回 いのうえかおるそうなん 井上馨遭難の地② ～馨は何で、一命を取りとめたんじゃろうか?～

元治元年(1864)9月25日、袖解橋の手前(中園町)で保守派(俗論派)の壮士数名に襲撃された井上馨は、瀕死の重傷を負いながらも奇跡的に一命を取りとめました。さて、それではなぜ、馨は助かったのでしょうか。今回はそのことについて検証してみることにしましょう。

1. 後頭部・顔面・下腹部・脚部など、数カ所を斬られたが、急所はまぬがれていた。(おそらく、大きな血管や臓器は無事じゃったんでしょねえ。)
2. 壮士らによって地面にうつ伏せに倒され、背中に刀を振り下ろされた際、馨が腰に差していた刀が背中に回っており、防御の役目をしてくれた。(通常ならここで体が真っ二つになるところでありました。)
3. 馨に止めを刺そうとした壮士は、胸元目掛けて刀を刺した。しかし、カチンと音がしてそれた。その時、馨の懐には京都祇園の芸妓・中西君尾からもらった鏡が入っていた。(そう伝えられています。こりゃあ事実なんでしょう。本当にそうじゃったらぶちラッキー。)
4. 当時、馨が携えていた刀は、親友・杉孫七郎から護身用にと贈られたものであった。(馨と孫七郎は天保6年生まれと同じ年。生涯の友でありました。)
5. 重傷を負った馨は、意識がもうろうとする中、近くにあった桑場家という農家にたどり着き、その兄弟らに助けられた。(ここで馨は水をもらって飲んだそうです。)
6. 井上家に搬送された馨は、苦しみあまり、兄・五郎三郎に介錯を請うたが、母親が体を張ってそれを阻止した。(母は、五郎三郎に対し、馨を斬るなら自分も一緒に斬りなさいと言い、何とか手術をして欲しいと頼み込んだのであります。この話は「母の力」というタイトルで国語の教科書にも掲載されたことがありました。)
7. 井上家には二人の医師が呼ばれたが、彼らはどうすることもできずにいた。その後、そこに駆けつけた名医・所郁太郎によって手術が施された。(郁太郎は美濃国(現・岐阜県)出身。大坂の適塾に学び、西洋医学・洋学を修め、京都において医院を開業。その近くに長州藩邸があったため、藩の邸内医院を委嘱されていました。その後、尊王攘夷派の志士と交流を持つようになり、長州の地に來住。七卿落ちの際にはその医員を命じられました。)

こうして、多くの人々の協力と幸運に恵まれた不撓不屈の男、井上馨は幕末の動乱を駆け抜け、やがて明治の元勳へと上り詰めていったのです。



明治の元勳 井上馨



名医 所郁太郎

おいでませ山口 祝 8月



ゆかたで
おもてなし



東山保育園児も
お出迎え♪



アテンダントのみなさんがゆかたでおもてなし

外郎・うちわ
プレゼント



アテンダントがSLに乗り込み
うちわや外郎を乗客にお配りしました

ありがとう♪

どうぞ♡



交流センター前も
キレイに飾り付け

交流センター前の飾り付け

23日(土)山口線全線復旧

JR山口線全線運転再開記念イベント!!

おもてなし作戦を決行しました!!

8月23日(土)、JR山口駅構内において「JR山口線全線復旧記念」おもてなしイベントを開催しました。おかげさまで当日は、200名をこえる白石の皆様においでいただき、オリジナルうちわと横断幕、そして、東山保育園園児の園歌の合唱や、山口市消防音楽隊の演奏でところを込めたおもてなしをすることができました。ご協力、たいへんありがとうございました。

ゆかた姿のアテンダントが乗客の皆様へ、オリジナルうちわ、外郎、手作りのSLしおりをプレゼントしました。

たくさんの笑顔をいただきました。

SLに向かって手をふるろう!

9月の運行予定日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				



山口市消防音楽隊のみなさんの演奏



たくさんのご参加ありがとうございました

山口七夕ちょうちんまつり

「絶景穴場スポットづくり大作戦」

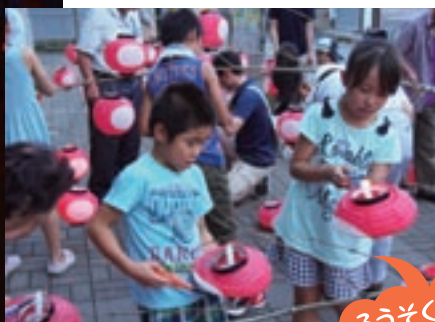
8月6日(水)、白石地域交流センターにおいて七夕ちょうちんの飾り付け、火入れを行いました。当日は雨天のため、残念ながら参加希望者の皆様には中止のご連絡をしましたが、雨が小康状態であったため規模を縮小して実施しました。

「あなたの願いや祈りを夜空に・・・」

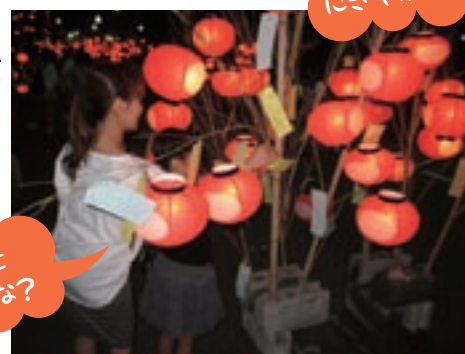
8月7日(木)、たくさんの方に参加していただき、ありがとうございました。皆様のそれぞれの願いや祈りを込めた184枚の短冊が夜空を彩りました。



商店街もにぎやかでした



3うそくに火を入れます



願いごとかなうかな?

短冊に願いごとを書いて飾りました